

平成29年度行政事業レビューシート ( 総務省 )

<b>事業名</b>	旧日本赤十字社救護看護婦処遇等経費			<b>担当部局庁</b>	大臣官房		<b>作成責任者</b>
<b>事業開始年度</b>	昭和54年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	総務課管理室		室長 稲垣 好展
<b>会計区分</b>	一般会計						
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	総務省設置法(第4条第1項第86号)			<b>関係する計画、通知等</b>	-		
<b>主要政策・施策</b>	-			<b>主要経費</b>	その他の事項経費		
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	旧日本赤十字社救護看護婦等の労苦に報いるために採られた特例的な措置。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	先の大戦において、戦地・事変地に派遣され、救護看護婦等として勤務された方々に対し、勤務期間に応じて慰労給付金(3年以上の戦地勤務期間があった、恩給と同様の加算年を加えて12年以上に達する本人が対象)の支給を行っている。						
<b>実施方法</b>	補助						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	<b>予算の状況</b>	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求
		補正予算	159	144	124	154	148
		前年度から繰越し	0	0	0	0	0
		翌年度へ繰越し	0	0	0	0	0
		予備費等	0	0	0	0	0
		計	159	144	124	154	148
	執行額	156	137	118			
	執行率(%)	98%	95%	95%			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	98%	95%	95%			
<b>平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)</b>	<b>歳出予算目</b>	<b>29年度当初予算</b>	<b>30年度要求</b>	<b>主な増減理由</b>			
	旧日本赤十字社救護看護婦処遇等補助金	154	148	・慰労給付金の支給件数の自然減			
	計	154	148				

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	/	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
				成果実績	-	-	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-	-	-		
				達成度	%	-	-	-	-	-		
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)												
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック				
定量的な成果目標 の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定量的な成果目標と26～28年度の達成状況・実績								
	定量的な目標が設定できない理由及び定量的な成果目標			慰労給付金の支給件数は自然減が見込まれ、また、その支給等は請求を受けて行われることから、定量的な成果目標を設定することは困難。 ・慰労給付金の円滑な支給。 ・平成26年度から28年度までの間において、日本赤十字社において慰労給付金の円滑な支給を実施。								
	代替目標	代替指標	/	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
	過去の支給件数の自然減を踏まえた適正な慰労給付金の計上(予算額-給付金確定額≥0)	予算額-給付金確定額		実績	百万円	3	7	7	-	-		
			目標値	百万円	-	-	-	-	-			
			達成度	%	100	100	100	-	-			
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込			
	慰労給付金の支給件数			活動実績	件	701	628	538	-	-		
				当初見込み	-	-	-	-	-			
単位当たり コスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込				
	執行額/支給件数			単位当たり コスト	百万円	0.2	0.2	0.2	-			
				計算式	百万円/件	156/701	137/628	118/538	-			
政策評価、 経済・ 財政再生 アクション・ プログラムとの 関係	政策	VII. 国民生活の安全・安心										
	施策	1. 一般戦災死没者追悼等の事業の推進										
	政策評価	測定指標	定量的指標			/	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
						実績値	-	-	-	-	-	-
						目標値	-	-	-	-	-	-
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	慰労給付金支給事務を行う日本赤十字社に補助金を交付することにより、日本赤十字社を通じ、先の大戦において、戦地・事変地に派遣され、救護看護婦等として勤務された方々に対し慰労給付金を支給し、その労苦に報いることに寄与する。											
	改革項目	分野:	-									
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			/	単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
					成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-			
			達成度	%	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			/	単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
				成果実績	-	-	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-	-	-		
				達成度	%	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												

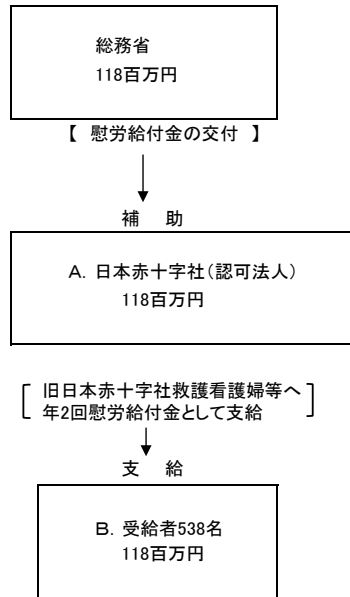
事業所管部局による点検・改善			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	-	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	・旧日本赤十字社救護看護婦等の労苦に報いるため、国庫支出により日本赤十字社において慰労給付金を支給する事業として制度設計されている。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	-	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	・費目・用途は、慰労給付金の支給に限定している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	旧日本赤十字社救護看護婦等に支給するための慰労給付金を日本赤十字社に適切に交付している。	
	改善の方向性	慰労給付金の支給を円滑に実施するため、旧日本赤十字社救護看護婦等への支給状況を把握しつつ、適切に対応していく。	
外部有識者の所見			
外部有識者による点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見			
現状通り	事業の効率的な予算執行に努め、引き続き所要額を計上。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
現状通り	事業の効率的な予算執行に努め、引き続き所要額を計上。		
備考			

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	150	平成23年度	150	平成24年度	143
平成25年度	144	平成26年度	141	平成27年度	138
平成28年度	134				

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)  
 (単位: 百万円)



**費目・使途**  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で表情が分かるように記載)

A.日本赤十字社			B.受給者538名		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
給付金	慰労給付金	118	-	-	
計		118	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載  チェック

支出先上位10者リスト

A.日本赤十字社

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本赤十字社	6010405002452	慰労給付金	118	その他	-	--	

B 受給者538名

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	慰労給付金	0.4	その他	-	--	
2	個人B	-	慰労給付金	0.4	その他	-	--	
3	個人C	-	慰労給付金	0.4	その他	-	--	
4	個人D	-	慰労給付金	0.4	その他	-	--	
5	個人E	-	慰労給付金	0.4	その他	-	--	
6	個人F	-	慰労給付金	0.4	その他	-	--	
7	個人G	-	慰労給付金	0.4	その他	-	--	
8	個人H	-	慰労給付金	0.4	その他	-	--	
9	個人I	-	慰労給付金	0.4	その他	-	--	
10	個人J	-	慰労給付金	0.4	その他	-	--	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1	-	-	-	-	-	その他	-	--	